


# 誰一人取り残さないための学力向上アクションプラン

令和7年5月1日現在

江戸川区立鹿骨東小学校

全国学力・学習状況調査		
A・B層の割合		
年度	国語	算数
令和8年度の目標	60.0%	60.0%
令和7年度の目標	55.0%	53.0%
令和6年度の結果	46.9%	30.0%
令和5年度の結果	47.7%	36.9%

令和6年度江戸川区学力調査結果		
A・B層の割合		
学年	国語	算数
第6学年	36.1%	39.7%
第5学年	53.1%	49.4%
第4学年	40.5%	39.2%
第3学年	26.3%	25.0%

 ともに、生きる。 <b>江戸川区</b>	目標達成に向けた取組		
	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内授業研究において国語科の研究授業を3学年で1度ずつ実施する。</li> <li>校内の「算数スタンダード」を算数の全授業で実施。授業の流れを統一し、分かりやすい授業を心掛ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「漢字マスター」「九九マスター」を年間に1度ずつ実施し、既習事項の定着を目指す。</li> <li>漢字小テストを定期的に実施し、新出漢字の定着を目指す。</li> <li>給食後の「のびのびタイム」を利用し、学年ごとに既習事項の復習をする。</li> <li>よむYOMUワークシート通信を使って読解力の向上を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間に4度の家庭学習期間を設置する。（学期に1度の江戸川っ子スタディーウィークと重ねる。）</li> <li>学年×15分間の家庭学習時間を保護者に呼び掛ける。</li> <li>毎日の宿題で、漢字、計算、音読などを中心に取り組ませる。</li> </ul>
特に支援が必要な児童・生徒への手だて	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループ活動、ペア活動を意図的に取り入れることにより、授業への主体性や理解度が上がるようにする。</li> <li>学習シートやタブレットなどを有効活用し、個別最適な学びを目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>4年生以上では、週1回の放課後学習教室を通して、個に応じた指導を行い、算数の既習事項の定着を図る。</li> <li>漢字テストの合格ラインを設定し、予めテスト範囲を練習させるなどをして、合格できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭学習期間には、オンラインドリルで復習に取り組み苦手分野の克服を目指す。また、自主学習や読書を推奨し、得意分野を伸ばす。家庭学習頑張りカードを提出させ、担任が学習状況を把握し、うまく取り組めていない児童には個別に声掛けをする。</li> </ul>
成果指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国学力・学習状況調査「児童・生徒質問紙」における設問「国語、算数の授業の内容はよく分かりますか」への肯定的な回答が80%以上を達成しているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2学期末の東京ベーシックドリル診断シートにおける各学年の算数の正答率が70%を達成しているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭学習期間の全児童の取り組み率が80%以上になっているか。</li> </ul>